

2018（平成 30）年度 第 2 回公共図書館部会幹事会記録

- ・日時 平成 31 年 2 月 28 日（火） 午後 2 時～4 時
- ・場所 日本図書館協会 5 階 504 会議室
- ・幹事現員数 16 名、出席幹事 12 名、委任状出席 4 名
- ・出席幹事：中山勝文（群馬県立図書館、部会長）、矢追武（大阪府立中央図書館、副部会長）、蜂谷洋（宮城県図書館）、杉浦孝幸（福島県立図書館）、代島常造（埼玉県立熊谷図書館）、安藤和紀（三重県立図書館）、大賀修治（京都市立図書館中西進館長代理）、熊澤正樹（広島県立図書館）、町田豊治（徳島県立図書館）、塩川也寸志（大分県立図書館）、高橋正名（個人選出）、堀渡（個人選出）
委任状：山口隆史（横浜市中央図書館、副部会長）、福澤幸人（富山県立図書館）、小坪正夫（北九州市立中央図書館）、内門直子（さいたま市立与野図書館）
事務局：鈴木隆（日本図書館協会常務理事）
列席：西野一夫（日本図書館協会副理事長）

冒頭、西野副理事長から挨拶があり、消費税の軽減税率への協力への御礼と群馬県、栃木県、静岡県、富山県、京都府の 5 つの図書館協会等から関係方面への要望書提出の報告があった。

部会規程第 10 条第 6 項により、中山勝文部会長が議長となった。

部会規程第 10 条第 7 項により幹事会の開催報告が事務局からあった。

議題

- 1 平成 31 年度公共図書館部会事業計画（案）及び予算計画（案）について（資料 1,2）
事業計画案、予算計画案について、原案どおり承認された。
- 2 平成 31（2019）年度役員体制について
平成 30 年度公共図書館部会役員名簿と公共図書館部会規程に基づいて、選出について事務局から説明した。
4 月の人事異動などで幹事など役員が変わる可能性があるため 4 月になったら各ブロックあて、幹事と代議員について事務局から照会し、取りまとめたものをメールにて各幹事にお送りすることとした。6 月 14 日の代議員総会に間に合うように日程を確認のうえ、対応することを決定した。（資料 3,8）
- 3 その他
 - ・図書館資料費増額及び図書館振興運動の今後の進め方について
 - 「自治体の総合計画等における図書館政策の位置付け及び資料費・事業費の確保につ

いて」(アンケート) 2018 年度版などを集約中。また資料 4-1「平成 31 年度予算における図書館関係地方交付税について(要望)、資料 4-2「図書・雑誌・新聞への消費税軽減税率の適用を求めます」、資料 4-3 協会から都道府県図書館協会、都道府県立図書館長あて礼状、資料 4-4「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申(案))に関する意見募集に係る意見⑨)などの報告があった。

報告

1 平成 30 年度公共図書館部会事業報告及び決算見込み

平成 30 年度事業報告案、決算見込みを報告。年度途中であるため、今後も事業を行う予定や、決算見込みでは数字が動くこともあることを前提に報告があった。また、大阪北部地震や西日本豪雨の図書館被害について公共図書館部会長名で調査したが、図書館災害対策委委員会へ引き継いだという報告があった。

幹事意見) 事務費が支出されていないが、この会議などに経費はかかっているか。

事務局) 幹事会や総会の議案印刷経費などを支出見込みに入れていないので、決算報告時までににかかった経費の支出をさせていただき、反映させます。

幹事意見) 長期延滞の調査について、昨年 3 月に調査を行っているが、各図書館も業務改善のために、待っているのではないか。やれる範囲で一日も早く報告していただきたい。

事務局) 努力してできるだけ早く提供いたします。

2 その他

資料 6「図書館における指定管理者制度の導入について 2018 年調査(報告)」、資料 7 で全国図書館大会及び全国公共図書館研究集会の開催予定を紹介した。

全国図書館大会三重大会が 2019 年度に開催されるに伴い、チラシを配布し三重県立図書館から挨拶をいただいた。

「群馬県の読書活動の推進に関する条例」について資料配布し報告をいただいた。

各幹事からブロック内での報告をいただいた。

退任予定の幹事からあいさつをいただいた。

以上をもって幹事会を終了した。